

# 相談を希望 される方へ



- 相談は対面が基本ですが、電話やメールでも受け付けます。
- 相談はプライバシーの保護に配慮した施設、場所で行います。
- 希望者は、所属学科・部署などにかかわらず、相談しやすい相談員を選んでください。
- 相談員には厳格な守秘義務を課しています。相談者の了承なしに、内容や名前が担当相談員・ハラスメント防止委員以外に漏れることはありません。

一緒に出口を探しましょう!

ハラスメントを受けたと感じたときは、一人で悩まず、ご相談ください。  
また、友人や知人が悩んでいるときは、相談の制度があることを伝えてあげてください。  
相談員には教員と事務職員がいます。  
連絡先は、ホームページおよび学内掲示にてお知らせしています。

## 窓口・問い合わせ



TEL.0742-41-9505

(学生支援センター学生担当)

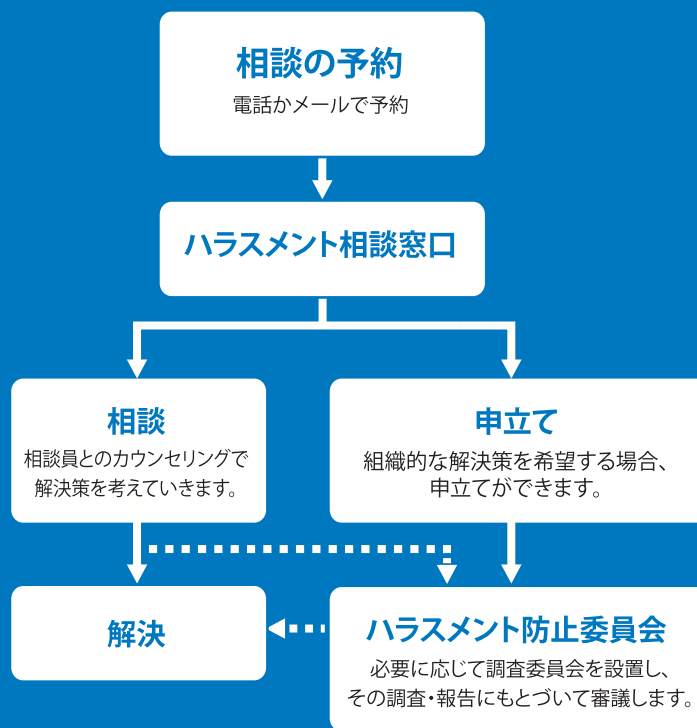
【受付時間】月曜日～金曜日 8:30～16:50  
土曜日 8:30～12:30



gakusei@aogaki.nara-u.ac.jp

奈良大学ハラスメント防止委員会 〒631-8502 奈良市山陵町1500

## 相談・解決への流れ



### 解決方法

#### 通知

委員長より、被申立人に対して(申立人が希望する場合は申立人の名前を伏せたままで)申立ての内容を通知し、解決を図ります。

#### 調整

委員長と被申立人の監督責任者(学部長、研究科長、事務局長・課長等)との間で、採られるべき適切な措置について調整し、解決を図ります。

#### 調停

委員長立ち合いのもとで、当事者同士が話し合い、必要に応じて委員会が調停案を提示することで、解決を図ります。

#### 調査・措置

委員会が調査委員会を設置して事実関係の調査を行い、ハラスメントの有無について判断します。被申立人の行為がハラスメントに該当すると判断された場合は、関係機関に対して厳正な措置を求め、解決を図ります。

STOP  
ハラスメント

## 相談の手引き

安心してキャンパスライフをおくる環境を保つために!



# ハラスメントとは

本学では、教職員、学生もしくは関係者が、他の教職員、学生などに不利益や不快感を与える言動を「ハラスメント」と定義しています。

## × セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントは、相手の意に反し、相手に不利益や不快感を与える性的な言動のことです。

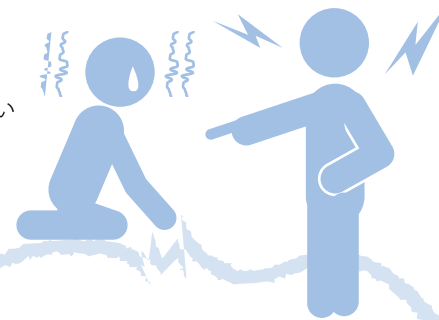
- 卑猥な冗談を交わす
- 体型や容姿についてからかう
- 「男のくせに」「女のくせに」などと発言する
- 研究指導を口実に食事やデートにしつこく誘う
- 女性であるというだけで、研究会のお茶くみ、掃除、受付などを強要する



## × パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントは、職務上その他の地位や人間関係などの優位性を利用して、適正な範囲を超えて指導や注意を行うことにより、精神的・身体的苦痛を与え、相手の就労上その他の利益や人格、尊厳を侵害する言動または職場やその環境を悪化させる言動のことです。

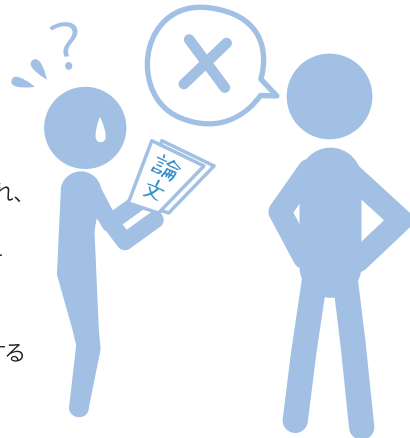
- 正当な理由なく職務上の指導を一切しない
- 休暇の申請を不当に認めない
- 人格や能力を否定する



## × アカデミック・ハラスメント

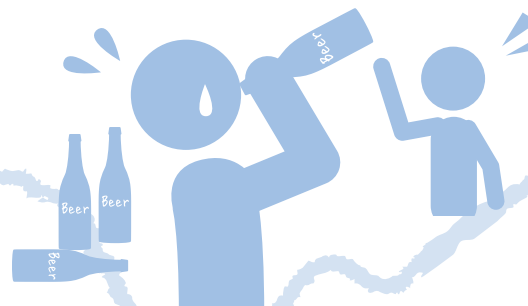
アカデミック・ハラスメントは、教育研究上の力関係や上下関係、または優越的な地位を利用して行う言動によって、相手の教育研究上または修学上の利益や権利を侵害することです。

- 正当な理由なく研究・教育上の指導を一切しない
- 卒業・修了の判定基準を恣意的に変更して故意に留年させる
- 論文指導を希望しても「忙しい」と言われ、長期間放置する
- 学会発表や論文投稿などの研究活動を正当な理由なく禁止する
- 本人の望まない退職や、他の研究教育組織への不当な異動を強制する



## × アルコール・ハラスメント

飲酒、イッキ飲みの強要、意図的な酔いつぶし、お酒を飲まない人への配慮を欠くことなどに代表されるアルコールにからむ嫌がらせのことです。



もし、対応に困ったら、相談窓口へご相談ください。

もし、あなたがハラスメントにあっってしまったら



ハラスメントは、被害者の責任で生じるものではありません。自分を責めたり我慢したりせず、事態が悪化する前に、解決へ向けて行動してください。

- ★なるべく記録を残しましょう
- ★不快である意思表示をすることも大切です
- ★ひとりで悩まず、相談しましょう

もし、誰かがハラスメントにあっていたら



- ★ハラスメントを見逃さない勇気が必要です
- ★相談を受けるよう勤めてください
- ★相談内容等の知り得た情報は慎重に扱うことが必要です

## 加害者にならないために

ハラスメントをしないようにするためには、何よりも人権を尊重する立場に立つことが重要です。ハラスメントは、個人や立場によって感じ方が異なるために、判断が付きにくいと思われがちですが、自分と相手の立場を置き換えて考えてみるとよいでしょう。

- ★相手が不快と感じていると分かったときには、繰り返さないようにしましょう
- ★「男性や女性はこうあるべき」という固定的な性的役割などの偏った見方・考え方を押しつけることは避けましょう
- ★全ての構成員は、お互いが大切なパートナーであるという意識を持ちましょう